

会報

公益財団法人古紙再生促進センター



第45巻第3号

7

2019

- ◆平成30年度 事業報告
- ◆岩国環境フェスタ2019 開催報告（中・四国地区委員会）
- ◆2018年中国の古紙統計
- ◆全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2019のご案内



目 次

理事会報告

- ・平成 30 年度 事業報告…………… 1
- ・正味財産増減計算書 …………… 13
- ・公益財団法人古紙再生促進センター 役員名簿 …………… 15
- ・公益財団法人古紙再生促進センター 評議員名簿 …………… 16

活動報告

地域広報活動

- ・『岩国環境フェスタ 2019』（中・四国地区委員会）…………… 17

研究報告

- ・第 1 回江前先生の研究レポート …………… 18

海外情報

- ・第二十二回 夏先生のチャイナレポート …………… 21
- ・2018 年中国の古紙統計 …………… 24
- ・2018 年度 欧州訪問調査 …………… 25

センター日誌

- …………… 30

お知らせ

- ・ホームページの更新について …………… 33
- ・第 2 回『古紙回収の写真コンクール』入賞作品について …………… 34
- ・紙リサイクル促進の新冊子発行 …………… 36
- ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2019 のご案内 …… 37

(表紙)

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2018

ポスター中学生部門 金賞作品

豊中市立第九中学校 3 年 谷 承子

タイトル「ウマレカワル カミリサイクル」

平成 30 年度 事業報告

1. 古紙品質安定対策事業

古紙品質の維持向上を図るため以下の事業を実施した。

(1) 古紙品質調査事業（平成 24 年度から継続）

古紙品質の維持向上の基礎情報として活用するため、関東地区製紙メーカー（年間：段ボール 5 工場 10 ベール、新聞 4 工場 8 ベール、雑誌 10 工場 20 ベール）、中部地区製紙メーカー（年間：段ボール 3 工場 6 ベール、新聞 2 工場 4 ベール、雑誌 4 工場 8 ベール）、近畿地区製紙メーカー（年間：段ボール 3 工場 14 ベール、新聞 1 工場 4 ベール）において古紙の開梱組成調査を実施した。

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】

	段ボール	その他紙 〈基準 3% 以下〉	禁忌品 (A+B) 〈基準 0.3% 以下〉
平成 30 年度	97.9%	2.0%	0.1%
過去 7 年*平均	96.1%	3.0%	1.0% ^注

注) 過去 7 年平均の禁忌品は、平成 24 年度、平成 25 年度の一部ベールで禁忌品混入の多いものがあつたため高くなっており、当該 2 年を除く 5 年平均でみると 0.2% である。

【新 聞】

	新聞	チラシ	その他紙 〈基準 1% 以下〉	禁忌品 (A+B) 〈基準 0.3% 以下〉
平成 30 年度	61.9%	35.5%	2.3%	0.3%
過去 7 年*平均	61.7%	35.7%	2.3%	0.3%

【雑 誌】

	雑誌	その他紙 〈基準 5% 以下〉	禁忌品 (A+B) 〈基準 0.5% 以下〉
平成 30 年度	60.3%	39.2%	0.5%
過去 7 年*平均	63.6%	35.3%	1.0% ^注

注) 過去 7 年平均の禁忌品は、平成 24 年度の一部ベールで禁忌品混入の多いものがあつたため高くなっており、当該 1 年を除く 6 年平均でみると 0.6% である。

※過去 7 年：平成 24 年度から平成 30 年度。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質情報ネットワークを各地区委員会に拡大し、古紙品質情報については新たに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載した。

各地区委員会における古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

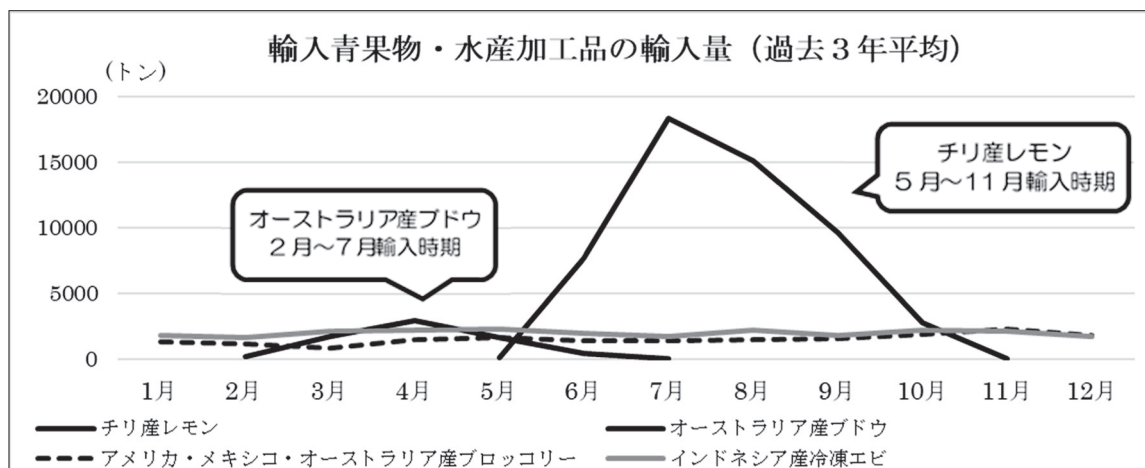
() は昨年度件数

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	口ウ段	その他	計
関東地区委員会	9 (11)	1 (0)	4 (12)	0 (4)	5 (1)	19 (28)
中部地区委員会	1					1
近畿地区委員会				2	2	4
合 計	10	1	4	2	7	24

(3) 個別古紙品質対策

重大なトラブルに至らないものの各地区委員会で通年を通して青果物の輸入に伴うロウ引き段ボール等が段ボール古紙に混入していることが報告されることから、集荷業者及び排出事業者を対象とした「ロウ引き段ボール混入防止リーフレット」を作成し、製紙会社及び古紙問屋から集荷業者、排出事業者等に配布し、ロウ引き段ボールの発生のタイミング及び分別、混入防止を周知した。

【ロウ引き段ボールの発生のタイミング】



2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、未利用古紙の掘り起こし、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底等に関する事業を実施した。中でも重点事業として、地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施やリニューアルしたホームページを活用した情報の発信に取り組んだ。また、集団回収実施団体への感謝状の贈呈等により紙リサイクルの普及促進に努めた。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル意見交換会

地方自治体との連携強化を目的に、紙リサイクルの現状と課題等に関する意見交換会を実施した。

また、関東地区では意見交換会の実施に向け継続して自治体と打合せを行っている。

開催日	地方自治体	業界関係者
7月30日(月)	愛知県内各市の廃棄物処理の担当職員	中部地区の製紙メーカー、古紙問屋
11月19日(月)	大阪市廃棄物処理の担当職員	近畿地区の古紙問屋

2) 紙リサイクル出前授業

主に小学生高学年を対象に紙リサイクルへの理解を深め、紙リサイクル体制の維持・発展に資するため、センターで作成した紙リサイクル教材を活用し、全国各地区で下表のとおり実施した。実施校数は55校（前年度比10校増）、参加者は3,590名（前年度比936名増）に上った。

また、テキスト改訂に伴い各地で講師研修会を実施し、講師育成に努めた。

地 区	実 施 日	対象学校 ・ 学年	参加者数
北海道	平成 30 年 11 月 13 日	札幌市立明園小学校 5 年生	66 名
東 北	平成 30 年 9 月 11 日	石巻市立釜小学校 4 年生	72 名
	9 月 25 日	南相馬市立大甕小学校 4 年生	18 名
	10 月 2 日	南相馬市立太田小学校 4 年生	9 名
	10 月 4 日	石巻市立稲井小学校 4 年生	60 名
	10 月 23 日	石巻市立開北小学校 4 年生	58 名
	11 月 1 日	石巻市立石巻小学校 4 年生	56 名
関 東	平成 30 年 5 月 14 日	朝霞市立朝霞第四小学校 4 年生	120 名
	7 月 10 日	逗子市立池子小学校 4 年生	50 名
	8 月 23 日	狛江市立緑野小学校 3 ～ 6 年生	12 名
	9 月 27 日	横浜市立新吉田第二小学校 4 年生	87 名
静 岡	平成 30 年 6 月 28 日	富士市立大淵第二小学校 4 年生	2 名
	6 月 29 日	富士市立青葉台小学校 4 年生	77 名
	7 月 3 日	富士市立吉永第一小学校 4 年生	53 名
	7 月 9 日	富士宮市立貴船小学校 5 年生	87 名
	7 月 11 日	富士市立丘小学校 4 年生	147 名
	7 月 20 日	富士市立須津小学校 4 年生	118 名
	9 月 6 日	富士市立伝法小学校 4 年生	126 名
	9 月 11 日	富士市立富士川第二小学校 4 年生	61 名
	11 月 1 日	沼津市立浮島小学校 4 年生	31 名
	11 月 2 日	富士市立岩松北小学校 4 年生	130 名
	11 月 21 日	富士市立今泉小学校 4 年生	111 名
	11 月 27 日	富士市立東小学校 4 年生	14 名
	12 月 13 日	富士市立吉永第二小学校 4 年生	33 名
中 部	平成 30 年 5 月 30 日	桑名市立桑部小学校 4 年生	40 名
	6 月 1 日	名古屋市立伝馬小学校 4 年生	47 名
	6 月 5 日	名古屋市立廿軒家小学校 4 年生	120 名
	6 月 5 日	名古屋市立金城小学校 4 年生	66 名
	6 月 7 日	名古屋市立弥富小学校 4 年生	121 名
	6 月 8 日	名古屋市立豊治小学校 4 年生	90 名
	6 月 14 日	名古屋市立港西小学校 3 年生	76 名
	6 月 19 日	名古屋市立大野木小学校 4 年生	89 名
	6 月 20 日	名古屋市立米野小学校 4 年生	40 名
	6 月 21 日	名古屋市立光城小学校 4 年生	83 名
	6 月 27 日	名古屋市立城北小学校 4 年生	90 名

地 区	実 施 日	対象学校 ・ 学年	参加者数
中 部	7 月 10 日	名古屋市立呼続小学校 4 年生	50 名
	7 月 11 日	名古屋市立内山小学校 4 年生	16 名
	7 月 13 日	名古屋市立藤が丘小学校 4 年生	49 名
	9 月 14 日	東郷町立高嶺小学校 4 年生	98 名
	9 月 18 日	名古屋市立平針南小学校 4 年生	57 名
	9 月 19 日	名古屋市立日比津小学校 4 年生	61 名
	9 月 25 日	東郷町立音貝小学校 4 年生	78 名
	9 月 25 日	岐阜市立厚見中学校 1 年生	38 名
	10 月 11 日	名古屋市立大清水小学校 4 年生	163 名
	11 月 1 日	四日市市立桜台小学校 4 年生	41 名
	11 月 8 日	鈴鹿市立飯野小学校 4 年生	106 名
	11 月 10 日	岐阜市立七郷小学校 4 年生	112 名
	11 月 20 日	桑名市立多度青葉小学校 4 年生	9 名
近 畿	平成 30 年 7 月 9 日	播磨高原東小学校（たつの市）4 年生	18 名
	9 月 28 日	たつの市立揖保小学校 4 年生	31 名
中・四国	平成 30 年 7 月 11 日	高松市立高松第一小学校 6 年生	36 名
		高松市立高松第一中学校 1 年生	
	10 月 11 日	下松市立豊井小学校 5 年生	12 名
九州	平成 30 年 8 月 24 日	江北町立江北小学校 4 年生	97 名
	10 月 5 日	長与町立長与北小学校 4 年生	58 名
実施校数：55 校 ・ 参加者数：3,590 名 （昨年度 45 校・2,650 名）			

※センター以外に古紙問屋・組合が実施した出前事業数：90 校

3) 地域広報活動

各地区委員会で紙リサイクル啓発活動を下表のとおり実施した。

地 区	開催日	開催地	行 事 名	内 容
北海道	平成 30 年 9 月 16 日	北海道 旭川市	リサイクル ペーパーフェア	古紙の分別、禁忌品除去、古紙利用促進の P R、工作体験、啓発資料・ノベルティ配布等
東 北	平成 30 年 9 月 2 日	宮城県 仙台市	エコフェスタ 2018 出展	古紙の分別体験クイズ、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
静 岡	平成 30 年 8 月 3 日	静岡県 富士市	静岡県工業技術 研究所 フェア参加	古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙リサイクルノートの配布等
中 部	平成 30 年 8 月 25 日 ～ 26 日	石川県 金沢市	いしかわ環境 フェア 2018 出展	紙リサイクルに関するパネル展示、古紙利用製品の展示、紙ひもサンプル、ノベルティの配布等

地 区	開催日	開催地	行 事 名	内 容
中 部	9 月 15 日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2018 出展	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製 容器包装に関するクイズ、アンケート 用紙の配布等
	9 月 30 日	長野県 長野市	ながの環境フェア 出展	古紙回収・利用促進の P R、ノベルティ の配布
	10 月 21 日	石川県 金沢市	かなざわ エコフェスタ	古紙回収・利用促進 P R
	11 月 23 日	山梨県 甲府市	甲府市環境 フェア出展	紙リサイクルに関するパネル展示、古 紙分別に関するクイズの実施
	平成 31 年 2 月 16 日	愛知県 名古屋市	ゴミ非常事態宣言 20 周年記念イベント	雑がみ分別回収促進のための説明
近 畿	平成 30 年 10 月 21 日	奈良県 奈良市	平成 30 年度なら クリーンフェスタ	古紙分別・古紙利用促進のパネル展示、 紙すき体験、啓発資料の配布等
中・四国	平成 30 年 6 月 2 日	山口県 岩国市	岩国環境 フェスタ 2018	啓発資料の配布等、紙すき体験、古紙 利用促進のパネル等展示
九 州	平成 30 年 11 月 27 日 平成 31 年 1 月 16 日 1 月 18 日 1 月 23 日	福岡県 北九州市	古紙リサイクル バスツアー	北九州市内の小学校 4 校の小学生高学 年児童を対象に古紙の回収・流通・再 生の現場の見学会、紙すき体験

4) 紙リサイクル研修会

家庭又は事業所から排出される紙のリサイクルを促進させるため、地方自治体職員や集団回収団体代表者、事業者等を対象に下表のとおり実施した。実施回数は 18 回、参加者は 1,687 名であった。

開催日	開催地	対 象 者	参加者数	申込団体等
平成 30 年 5 月 25 日 5 月 26 日	埼玉県 所沢市	集団資源回収実施団体	123 名 115 名	所沢市環境クリーン部資源循環推進課
7 月 27 日	高知県 高知市	高知クリーン推進委員会事業所、高知 商工会議所会員事業所	23 名	高知クリーン推進会
9 月 10 日	千葉県 千葉市	千葉県内市町村、関係一部事務組合の 一般廃棄物担当者	97 名	千葉県環境生活部 循環型社会推進課
10 月 5 日	奈良県 奈良市	減量計画書等提出建物占有者	64 名	奈良市環境部 廃棄物対策課
11 月 1 日	千葉県 八千代市	八千代市廃棄物減量等推進員	53 名	八千代市安全環境部 クリーン推進課
11 月 8 日	群馬県 前橋市	県内市町村の一般廃棄物の実務担当者	40 名	群馬県環境森林部 廃棄物・リサイクル課
11 月 13 日	大阪府 吹田市	吹田市内の事業者	42 名	吹田市環境部 環境政策室
11 月 13 日 11 月 14 日	新潟県 新潟市	クリーンにいがた推進員	94 名 92 名	新潟市環境部 廃棄物対策課

開催日	開催地	対 象 者	参加者数	申込団体等
11 月 21 日	福岡県 北九州市	事業用大規模建築物及び大量排出事業所	380 名	北九州市環境局 循環社会推進部
11 月 22 日	東京都 港区	港区内事業者の廃棄物管理責任者等	150 名	みなとリサイクル 清掃事務所
11 月 22 日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、金沢市、等	12 名	石川県再生資源事業 協同組合
11 月 30 日	新潟県 新発田市	新発田市廃棄物減量等推進員	120 名	新発田市環境衛生課
平成 31 年 2 月 5 日	東京都 港区	港区集団回収実施団体代表者	42 名	みなとリサイクル 清掃事務所
2 月 13 日	佐賀県 佐賀市	事業者（多量排出事業者など）	100 名	佐賀市環境部 循環型社会推進課
2 月 22 日	栃木県 宇都宮市	県内市町及び一部事務組合 廃棄物行政担当職員	40 名	栃木県環境森林部 廃棄物対策課
2 月 24 日	東京都 青梅市	環境美化委員、一般市民	100 名	青梅市環境部 清掃リサイクル課
実施回数：18 回 ・ 参加者数：1,687 名 （昨年度 13 回・1,635 名）				

5) 紙リサイクルセミナー

紙リサイクルの維持・向上に向け、時宜を得たテーマを選定し、以下のとおり開催した。

日 時：平成 30 年 10 月 29 日 13 時 30 分～16 時 00 分

会 場：星陵会館 参加者数：234 名

講 演：①「古紙持ち去り行為撲滅に向けて～これまでの取組と課題～」

関東製紙原料直納商工組合 理事長 大久保 信隆 氏

②「通信販売の現状～JADMA 調査結果を中心に～」

公益社団法人日本通信販売協会 理事 事務局長 三浦 千宗 氏

③「紙リサイクル維持に向けた課題と対応」

～国内の紙・板紙需要構造の変化及び中国の古紙輸入規制の影響～

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部 技術担当部長 甲斐 和生

6) 啓発資料等の配布

ア 会 報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報（年 4 回、1,060 部／回）として発行した。

イ 古紙ハンドブック

令和元年度発行予定『古紙ハンドブック 2019』の掲載データを作成した。なお、欧州諸国の資源（古紙）回収システム及び個人情報法など情報を更新した。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ、下表のとおり提供や貸出しを行った。新たに「ロウ引き段ボール混入防止リーフレット」を作成し、積極的に提供した。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	222 件
DVDの提供	4 件
啓発用パネル（6枚組）の貸出し	2 件

7) 紙リサイクルコンテスト

平成30年度で10回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2018」を実施し、全国の小中学生を対象に「紙リサイクル」をテーマとした作文とポスターの作品募集を行い、平成29年度応募点数973点を大幅に上回る過去最高の2,609点の応募があった。全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、金賞・特別金賞・銀賞・佳作の各賞を決定し、金賞並びに特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時：平成30年12月1日 12時～14時

会 場：ホテルグランドパレス3階「白樺の間」

後 援：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

<金 賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	兵庫県宝塚市立宝塚小学校 3年	武田 奈々 「もったいない！」をなくしたい
	中学生部門	滋賀県東近江市立五個荘中学校 2年	足立 堅 資源回収を存続するために
ポスター	小学生低学年部門	神奈川県その絵の会 2年	金木 来人 リサイクルの4つのおきて
	小学生高学年部門	山口県岩国市立灘小学校 4年	尾賀 穂花 すてずにリサイクル
	中学生部門	大阪府豊中市立第九中学校 3年	谷 承子 ウマレカワル カミリサイクル

<特別金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞	兵庫県西宮市立南甲子園小学校 1年	大恵 朱実	おとうさんもリサイクルできたよ（作文）
日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞	神奈川県三浦市立初声中学校 2年	福留 一航	世界の未来を明るく（作文）
段ボールリサイクル協議会 会長賞	山口県岩国市立灘小学校 4年	村中 惺	ひろげよう リサイクルのわ（ポスター）

<銀 賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	茨城県土浦市立東小学校 5年	藤田 明日香 リサイクルで資源を守ろう！
	中学生部門	宮城県利府町立利府西中学校 3年	松浦 元音 どうすればリサイクルに協力してもらうか？
ポスター	小学生低学年部門	東京都荒川区立第三日暮里小学校 3年	梅田 莉歩 リサイクルランド
	小学生高学年部門	福岡県古賀市立古賀東小学校 4年	中村 伊吹 リサイクルしたら幸せがもどってくるよ
	中学生部門	愛知県刈谷市立依佐美中学校 2年	林 相太 まって！それもリサイクル

<佳作>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	千葉県富里市立 富里南小学校 5 年	我が家の紙リサイクル
		東京都 東京創価小学校 5 年	紙のリサイクル
	中学生部門	佐賀県 弘学館中学校・高等学校 3 年	身近なりサイクル
ポ ス タ ー	小学生 低学年部門	東京都 アトリエ n 3 年	紙づくり
		兵庫県 絵画教室絵かきのたまご 2 年	紙を大切に
ポ ス タ ー	小学生 高学年部門	北海道釧路市立 大楽毛小学校 5 年	リサイクルの輪をつくろう
		愛知県名古屋市長 大野木小学校 4 年	紙は資源
	中学生部門	山口県岩国市立 灘中学校 2 年	リサイクリング
		福岡県福岡市立 片江中学校 1 年	捨てる紙と救う紙

8) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

家庭、事業所、自治体、教育関係者のセンターホームページの閲覧を増やし、紙リサイクルへの理解を得ることを目的にリニューアルを行い、平成 30 年 8 月に公開した。

リニューアルでは、①モバイル端末での閲覧に対応、②求める情報にアクセスしやすいよう家庭、事業者、教育関係者、自治体職員、会員及びリサイクル事業者など項目毎に分類、③検索しやすいよう「グローバルナビ」、「よくある質問」などを新設、④新たなコンテンツとして「紙リサイクル〇×クイズ」、「公式ソング『かみの「か」を「ご」にかえないで!』」、「古紙分別チェッカー」、「数字でみる古紙再生」を新設した。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体（65 団体）に感謝状を贈呈した。昭和 62 年開始から累計で 894 団体となった。

推薦地区	団 体 名
北海道	山の手第 7 町内会（婦人部）、双葉町町内会、神楽岡 5 区北町内会、金堀小学校資源回収部、鳥取北町内会
東 北	高崎町会、將軍野向山町内会、上堂子ども会育成会、山形市立出羽小学校 PTA、西中田第一地区（A・B）子供会、長町西町 1 地区 5 班子供会、笹谷団地町会、金山町立小学校 父母と教師の会
関 東	栃木市立皆川城東小学校 PTA、並榎こども会さつき支部、熊谷市立玉井小学校 PTA、中条小学校 PTA・中条中学校 PTA、平和台自治会、塚田地区連合自治会、足立高砂町会青少年部、伊興中央町会、大川町東町会、大宮一丁目自治会、下堀自治会、秦野市立上小学校 PTA・上幼稚園 PTA、大東町自治会
新 潟	寺尾福寿会、中嘉山団地自治会、鎧第二自治会、天神尾二丁目自治会、長岡市立表町小学校、加茂市立須田小学校育友会、女池東第一自治会
静 岡	富士市鍛冶町子ども会、富士市立吉原北中学校 PTA
中 部	大塚子ども会、伊勝学区、県営桜島団地第一自治会、北校区合同資源回収、坂井市立春江西小学校 PTA、金石町小学校育友会、柳町校下自治振興会、甲州市立東雲小学校 PTA
近 畿	たつの市立龍野中学校 PTA、たつの市立津津小学校 PTA、姫路市立高浜小学校 PTA、北細江子供会、西出町町内会、飯岡子供会
中・四国	小海婦人会、四国中央市立南小学校、古町自治会、高松屋島ライオンズクラブ、ベルタウン子ども会、本庄ヒッターズ、別宮ごみ減量推進会、宇和島市立吉田中学校
九 州	桜坂地区子ども会、矢上団地自治会連絡協議会、神埼西小津ケ里自治会、麻生田校区第五町内自治会、神崎市立育振小学校、汐美台子供会、鳴滝町西部自治会、希望ヶ丘町内会

イ 集団回収特別活動賞表彰

紙リサイクルへの貢献とともに活動の目的及びその内容が素晴らしい女池東第一自治会（新潟県）、麻生田校区第五町内自治会（熊本県）の2団体に対して、平成30年12月1日紙リサイクルコンテスト2018表彰式に併せて集団回収特別活動賞を贈呈した。

2) グリーンマーク

平成30年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	平成30年度	累計
事業者数	9事業者 (新規承認事業者2件)	179事業者
件数	28件	686件

【表示内容変更】	平成30年度
事業者数	3事業者
件数	7件

3. 調査研究事業

国内では未利用古紙の掘り起こし・品質確保の観点から、地方自治体における古紙関連施策の調査、オフィス古紙回収モデル事業、リサイクル対応型機密文書処理ガイドラインの改訂事業を実施した。

海外では古紙輸入地域である中国をはじめとする東南アジア諸国や古紙輸出国である欧州の状況変化の実態を調査し、我が国の紙リサイクルへの影響の把握に努めた。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

業種別に見ると他の業種より紙リサイクル率が低い金融機関に注目し、金融機関における紙リサイクル実態を把握し、金融機関向けのオフィス古紙の回収促進のための冊子を作成した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策に関するアンケート調査を1,741自治体対象に行うと共に、関東地区の10自治体にヒアリング調査を実施した。また、平成20年度から30年度の調査結果の経年比較を行った。アンケート、ヒアリング及び経年比較の内容を報告書に取りまとめ、製紙・古紙業界関係者、地方自治体に配付した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

ドライトナー印刷物のリサイクル適性評価標準試験法（平成26年日本印刷産業連合会制定）の改訂案をまとめた。一方で、インクジェット印刷物のリサイクル適正評価試験法の検討は、リサイクル適正のあるインクジェット印刷の開発が進んでいないことから、開発状況の確認に留めた。

4) オフィス古紙回収モデル事業

少量排出事業所対象に可燃ごみとして排出されているオフィス古紙を掘り起こし、製紙原料として利用するモデルの構築を目的として、新潟市新津商工会議所の協力の下、平成30年4月より同市秋葉区にてオフィス古紙回収モデル事業を開始した。同モデル事業は令和元年度も継続する。

5) リサイクル対応型機密文書処理ガイドラインの改訂事業

令和元年度の改訂に向け、機密文書処理に関係する国内外の法規制などを調べた。

6) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

- ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会
- イ 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」
- ウ ISO / TC130WG11「ISO 印刷技術」国内委員会脱墨分科会
- エ 包装技術委員会 / ISO1860 委員会
- オ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

1) 中国古紙市場調査

平成 23 年度以来、日本、中国両国の古紙、製紙関係者が相互理解を促進し、連携を深め、両国の紙リサイクルの維持・発展に寄与する日中古紙セミナーを毎年、交互に開催している。今回は中国の古紙輸入政策変更を主たるテーマとし、平成 30 年 11 月 20 日に東京にて第 7 回日中古紙セミナーを開催し、367 名（国内参加者 280 名、中国側参加者 87 名）が参加した。また、セミナー開催に伴い、中国からの来日参加者を対象に古紙ヤードやリサイクル関連施設の見学会を行った。

第 7 回 日中古紙セミナー

日 時 : 平成 30 年 11 月 20 日 13 時 00 分～16 時 30 分

会 場 : 星陵会館

参加者数 : 367 名（国内参加者 280 名、訪日参加者 87 名）

講 演 : ①「2017 年中国古紙業界発展の現状と傾向分析」

中国再生資源回收利用協会古紙分会会長 吳 涛 氏

②「中国製紙産業の新たな局面、新たな機会、新たな課題」

中国造紙協会副理事長、江蘇省造紙行業協会会長、

江蘇省紙聯再生資源有限公司董事長 牛 庆民 氏

③「古紙輸入ゼロ？ 中国製紙業界の課題と対応」

RISI-UMPaper 助理總監 冯 艳 氏

④「日本における古紙品質向上の取組と課題」

関東製紙原料直納商工組合経営革新委員会委員長 新井 重樹 氏

(株式会社新井商店 代表取締役副社長)

2) 調査ミッションの派遣

e コマースの進展や中国の古紙輸入政策変更等による世界的な古紙需給構造変化のなか、昨年の米国調査に続き、欧州の古紙市場の変化など実態を把握するため、ベルギー、イギリス、ドイツを訪問調査するとともに、欧州の紙リサイクル関係機関との情報交換を実施した。

メンバー : 日本製紙株式会社 原材料本部 古紙調達部長 和田 健太郎

三弘紙業株式会社 代表取締役 上田 晴健

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章

面 談 先 : 12 月 12 日 Confederation of European Paper Industries

(CEPI/ 欧州製紙産業連合)

The European Recycling Industries Confederation

(EuRIC/ 欧州リサイクル協会)

12 月 13 日 Confederation of Paper Industries,UK (CPI/ 英国製紙協会)

The Recycling Association Limited,UK（英国リサイクル協会）

DS Smith（英国の製紙会社）

CS Recycling（英国の古紙会社）

12月14日 Bureau of International Recycling(BIR/ 国際リサイクル連合)

12月17日 German Pulp and Paper Association(VDP/ ドイツ製紙連合会)

Mayr-Melnhof Karton（ドイツの製紙会社）

Smurfit-kappa（アイルランドの製紙会社）

（3）統計調査

1）古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2）国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計（生産・出荷・在庫統計、原材料統計）、財務省貿易統計（古紙、紙類、パルプ）等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料（古紙、パルプ等）などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

ア 年間古紙需給統計

イ 古紙需給推移（品種別）

ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移

エ 古紙回収率推移

オ 古紙利用率推移

カ 古紙品種別輸出先別輸出実績

キ 古紙品種別輸入先別輸入実績

ク 中国の古紙輸入量（地域別・品種別）

ケ 古紙消費原単位

3）海外統計

中国造紙協会、韓国製紙連合会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページや会報に掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

国際化の進展が加速するなか、国内のみならず海外の古紙事情により我が国の紙リサイクルシステムへ悪影響が及ばないよう対策を講じるとともに、アジア全体の古紙回収率向上に向けて、関係国の紙リサイクルの実態把握及び働きかけを実施した。

（1）古紙余剰対策事業

古紙余剰対策事業については、国内の紙リサイクルシステムの維持・安定に資するものとして実施している事業であるが、平成30年度は古紙余剰等の緊急事態に至らなかったため、本事業は実施していない。

（2）紙の資源リサイクル安定化施策事業

1）海外における紙リサイクルの現状と紙リサイクル安定化施策等の調査

古紙の需要が増加している東南アジアの古紙回収状況及び中国の古紙輸入政策変更による影響等について情報収集並びに古紙回収率向上の働きかけに向け、タイ、ベトナム、マレーシアを訪問調査した。

【タイ・ベトナム】

- メンバー：日本製紙連合会 総務広報部国際担当部長 原口 直人
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課主査 濱野 彰吾
- 面談先：6月25日 ・タイ製紙連合会（TPPIA）
・SCG パッケージング
6月26日 ・タイ天然資源・環境省（MONRE）
6月27日 ・タイ包装環境研究所（TIPMSE）
6月28日 ・ビナクラフトペーパー
6月29日 ・ベトナム製紙連合会（VPPA）
・ベトナム天然資源・環境省
・ベトナム産業・貿易省

【マレーシア】

- メンバー：日本製紙連合会 総務広報部調査役 木村 茂明
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課主査 濱野 彰吾
- 面談先：7月30日 ・マレーシア製紙連合会（MPPMA）
・MUDA ホールディングス
・DRB-HICOM Environmental Services 社
（Alam Flora（廃棄物回収業者）子会社）
7月31日 ・GS ペーパー & パッケージ
・New Foo Sun（古紙業者）
8月1日 ・マレーシア投資開発庁

2) 製紙原料以外の古紙用途に関する調査

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 日本のリサイクルシステムへの影響把握、対策に関する調査

平成29年度からの継続事業で、新聞古紙不足対策として日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会と共同で、輸入 ONP と国内新聞のブレンド（2：8）品の利用を検討した。輸入 ONP 再選別の上、国内品とのブレンド使用は、輸入 ONP の禁忌品混入が高く、ガラス片や臭気の問題もあり、紙向けに利用出来るのは限定的であった。加えてコスト、選別の手間ひま等を考えると利用は不可との結論に至った。

5. その他の事業

各地区委員会において、古紙に関する情報交換、研修会等の活動を実施した。

以 上

正味財産増減計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一 般 正 味 財 産 増 減 の 部			
1. 経 常 増 減 の 部			
(1) 経 常 収 益			
① 基 本 財 産 運 用 益	2,600	5,245	△ 2,645
基 本 財 産 受 取 利 息	2,600	5,245	△ 2,645
② 特 定 資 産 運 用 益	226,646	502,045	△ 275,399
運 用 財 産 受 取 利 息	226,646	502,045	△ 275,399
③ 受 取 会 費	237,230,230	241,167,924	△ 3,937,694
賛 助 会 員 受 取 会 費	237,230,230	241,167,924	△ 3,937,694
④ 受 取 寄 付 金	696,407	1,377,475	△ 681,068
受 取 寄 付 金	696,407	1,377,475	△ 681,068
⑤ 雑 収 益	976,851	300,431	676,420
雑 収 入	976,851	300,431	676,420
経 常 収 益 計	239,132,734	243,353,120	△ 4,220,386

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費	206,433,400	197,618,577	8,814,823
役 員 報 酬	12,107,000	12,107,000	0
給 料 手 当	66,911,000	63,939,000	2,972,000
福 利 厚 生 費	9,300,000	8,626,000	674,000
退 職 給 付 費 用	2,027,000	1,791,000	236,000
役 員 退 職 慰 労 費 用	1,313,000	1,313,000	0
会 場 費	1,371,925	1,069,912	302,013
資 料 作 成 費	987,859	5,868,943	△ 4,881,084
啓 発 活 動 費	3,740,000	3,970,996	△ 230,996
広 告 料	490,920	622,000	△ 131,080
シ 入 テ ム 費	259,200	0	259,200
委 託 費	34,861,294	27,824,845	7,036,449
会 議 費	2,712,572	781,550	1,931,022
旅 費 交 通 費	19,762,065	17,400,643	2,361,422
通 信 運 搬 費	4,101,864	4,480,486	△ 378,622
減 価 償 却 費	2,249,920	1,143,000	1,106,920
消 耗 品 費	2,303,100	2,664,046	△ 360,946
印 刷 製 本 費	4,906,463	7,501,075	△ 2,594,612
新 聞 図 書 費	1,635,566	1,554,272	81,294
水 道 光 熱 費	1,108,000	1,089,000	19,000
賃 借 料	25,412,728	25,468,740	△ 56,012
諸 会 費	234,500	330,000	△ 95,500
諸 謝 金	929,580	326,861	602,719
租 税 公 課	28,200	22,200	6,000
支 払 手 数 料	28,160	15,448	12,712
雑 費	421,982	206,827	215,155
地 区 事 業 費	7,229,502	7,501,733	△ 272,231

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費	28,863,679	28,413,910	449,769
役 員 報 酬	1,053,420	1,053,420	0
給 料 手 当	5,766,290	4,868,714	897,576
福 利 厚 生 費	803,734	670,576	133,158
退 職 給 付 費 用	347,900	251,500	96,400
役 員 退 職 慰 労 費 用	115,000	115,000	0
会 場 費 用	233,450	140,460	92,990
広 告 料	100,000	110,000	△ 10,000
シ ス テ ム 費	521,340	547,260	△ 25,920
委 託 費	100,000	406,180	△ 306,180
会 議 費	5,988,811	6,021,954	△ 33,143
旅 費 交 通 費	4,174,712	4,322,276	△ 147,564
通 信 運 搬 費	179,937	171,816	8,121
減 価 償 却 費	45,970	45,952	18
消 耗 品 費	123,977	159,295	△ 35,318
印 刷 製 本 費	11,312	14,400	△ 3,088
新 聞 図 書 費	26,160	34,922	△ 8,762
水 道 光 熱 費	112,378	109,483	2,895
賃 借 料	2,536,106	2,530,769	5,337
諸 会 費	1,163,295	1,339,150	△ 175,855
諸 謝 金	4,379,204	4,490,886	△ 111,682
租 税 公 課	13,600	19,500	△ 5,900
支 払 手 数 料	481,209	511,544	△ 30,335
雑 費	585,874	478,853	107,021
経 常 費 用 計	235,297,079	226,032,487	9,264,592
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	3,835,655	17,320,633	△ 13,484,978
基 本 財 産 評 価 損 益 等	0	0	0
特 定 資 産 評 価 損 益 等	0	0	0
投 資 有 価 証 券 評 価 損 益 等	0	0	0
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	3,835,655	17,320,633	△ 13,484,978

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2 . 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	3,835,655	17,320,633	△ 13,484,978
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	2,434,040,223	2,416,719,590	17,320,633
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	2,437,875,878	2,434,040,223	3,835,655
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	2,437,875,878	2,434,040,223	3,835,655

公益財団法人古紙再生促進センター 役員名簿

令和元年 6 月 12 日現在

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	所属会社・団体名
代 表 理 事 (理 事 長)	渡 良 司	王子ホールディングス株式会社
業務執行理事 (副理事長)	長谷川 一 郎	レンゴー株式会社
業務執行理事 (副理事長)	瀬 邊 明	日本製紙株式会社
業務執行理事 (副理事長)	栗 原 正 雄	栗原紙材株式会社
業務執行理事 (副理事長)	大久保 信 隆	株式会社大久保
業務執行理事 (専務理事)	岡 村 光 二	公益財団法人古紙再生促進センター
業務執行理事 (常務理事)	櫻 井 孝 史	公益財団法人古紙再生促進センター
理 事	雨 宮 敏 幸	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
理 事	飯 田 悟	特種東海マテリアルズ株式会社
理 事	飯 田 俊 夫	飯田環境クリーン株式会社
理 事	石 川 喜一郎	株式会社石川マテリアル
理 事	岩 渕 慶 太	株式会社イワフチ
理 事	上 田 晴 健	三弘紙業株式会社
理 事	遠 藤 和 人	元 王子製紙株式会社
理 事	奥 田 辰 幸	日本製紙連合会
理 事	小 野 隆 弘	一般社団法人日本印刷産業連合会
理 事	菊 池 初 彦	株式会社丸元紙業
理 事	北 村 貴 則	大和板紙株式会社
理 事	木 村 育 生	丸住製紙株式会社
理 事	合 田 和 弘	機械すき和紙連合会
理 事	小 六 信 和	明和製紙原料株式会社
理 事	白 峰 幹 郎	大王製紙株式会社
理 事	城 谷 誠	日本紙パルプ商事株式会社
理 事	鈴 木 隆 男	山形資源株式会社
理 事	長 澤 幸 治	興亜工業株式会社
理 事	乗 田 佐喜夫	一般社団法人日本鉄リサイクル工業会
理 事	長谷川 裕 一	株式会社もっかいトラスト
理 事	松 土 義 一	三菱製紙株式会社
理 事	宮 後 資 正	北越コーポレーション株式会社
理 事	宮 崎 真	株式会社商工組合中央金庫
理 事	矢 倉 義 弘	大和紙料株式会社
理 事	吉 浦 高 志	株式会社久米川紙業
監 事	岡 村 隆	丸三製紙株式会社
監 事	須 長 利 行	株式会社二見

公益財団法人古紙再生促進センター 評議員名簿

令和元年 7 月 1 日現在
(敬称略・五十音順)

氏 名	所属会社・団体名等
磯 貝 明	東京大学大学院 教授
梅 田 慎 也	株式会社宮崎 代表取締役会長
大 坪 清	レンゴー株式会社 代表取締役会長 兼 社長
後 藤 卓 也	花王株式会社 前取締役会会長
佐 野 一	株式会社丸興佐野錦一商店 代表取締役社長
野 沢 徹	日本製紙株式会社 代表取締役社長
畑 俊 一	株式会社山室 名誉会長
服 部 弘	弁護士
平 井 成 子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 代表
村 山 憲 二	公認会計士
矢 嶋 進	王子ホールディングス株式会社 代表取締役会長

『岩国環境フェスタ 2019』

令和元年6月1日（土）山口県岩国市の岩国市役所1階多目的ホールにおいて、「岩国環境フェスタ 2019」が開催されました。中・四国地区委員会の光井興産有限会社は、資料の配布や紙すき実演を通して来場者に紙リサイクルへの協力を呼びかけました。ブースでは以下の3つの取り組みを行いました。

1. 啓発資料などの配布

紙リサイクルの理解を深めてもらうことを目的として、古紙の分別と禁忌品混入防止を促すリーフレットや、紙リサイクルノートなどを来場者の方々に配布しました。センターオリジナルキャラクターの「カミリイママ」も活躍し、子ども達にも親しまれていました。

2. 啓発パネルなどの展示

紙リサイクルについて理解を深めていただくため、紙リサイクルに関するパネルや、古紙の見本、紙の原料となる木材チップやパルプを展示しました。

3. 紙すき実演

紙すきの実演を行い、紙がリサイクルされる過程を見学してもらいました。見学者は紙が生まれ変わる様子に興味深々でした。



【カミリイママもお手伝い】



【啓発パネル等の展示】

【所感】

450 人もの来場者があり、会場は多くの人で賑わっていました。去年は雑がみの分別について知らないという人もいましたが「ちゃんと雑がみを分別しています。」という意見も聞く事ができ、毎年啓発している効果がでていることを実感できました。

また、紙すきの実演では、子ども達にも手伝ってもらいましたが、出来上がったはがきを持って帰りたいという声もあり、楽しみながら紙のリサイクルについて学んでもらうことができました。



【紙すき実演の様子】



【イベントの様子】

第1回 江前先生の研究レポート

本号より古紙・紙の研究に長く携わっておられる、筑波大学環境材料科学研究室の江前敏晴教授に古紙・紙に関する研究レポートを専門的な見地から寄稿していただくこととなりました。年間2回の掲載を予定しています。



江前 敏晴（エノマエ トシハル）

1960年福井県生まれ

筑波大学 生命環境系 生物材料工学分野

環境材料科学研究室 教授

【略歴】

東京大学農学部林産学科卒業

同農学系研究科林産学専攻修士課程修了

博士（農学）取得 論文題目「原紙の塗工適性及塗工紙の紙層構造評価に関する研究」

博士研究員として米国メイン大学化学工学科 “紙の表面科学プログラム”の

Dr. Pierre LePoutre の元で “Paper-Water interaction” の研究に従事

同大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻製紙科学研究室 助教授

2012年より筑波大学生命環境系 教授に就任

最近の製紙研究の動向から見た古紙、リサイクル、環境の重要性

日本で行われている最近の製紙関連の研究の状況について、2009年～2018年に発表された、紙パ技協誌（紙パルプ技術協会）の記事、日本印刷学会誌に掲載された研究論文及び総説特集、同研究発表会の予稿の内容から研究分野を分類し、その傾向をまとめた。

表1に11分野に分けて比重を示した。紙の製造工程、原料、リサイクル、印刷、保存、活用の順に並べてある。古紙、リサイクル、環境に関係する「古紙原料の増加に伴う紙製品の品質の低下と対策（薬品）」「リサイクル工程と環境問題」の両者を合わせると、製紙研究全体の45%を占めていることがわかる。これらの研究の動機は、リーマンショックを契機として高級塗工印

表 1 過去 10 年間（2009-2018 年）の印刷用紙の品質と製造に関する記事篇数比率

研究技術分野	記事篇数比率(%)	
抄紙機及び抄紙工程の改良（ドライヤ、計装、塗工機）	4.5	
塗工工程の改良と薬品	16.7	
古紙原料の増加に伴う紙製品の品質の低下と対策（薬品）	28.3	
リサイクル工程と環境問題	6.1	
印刷用紙の物性評価	4.5	
印刷用紙の印刷適性（品質）の改善	14.1	
印刷適性（通紙及び機械的特性）	3.5	
特殊印刷用紙（IJなど）の開発と評価	7.6	
紙メディアと電子メディアの比較及び融合論	7.1	
保存性、文化財	1.5	
紙基板エレクトロニクス	6.1	
(対象篇数)		198

刷用紙の増産から、環境を重視した持続可能な産業への方向転換と言える。近年の古紙原料の増加と古紙品質の低下（脱墨しやすい新聞古紙が減り段ボールや雑紙古紙が増加）は、従来の化学パルプ原料主体の生産技術では対応し切れない。古紙から持ち込まれる無機物成分として炭酸カルシウムが多いが、これは近年塗工用顔料として安価な重質炭酸カルシウム（天然の石灰石を摩砕）を高配合しているためである。そのため、これが再生紙に持ち込まれて高填料紙になりやすい。白色度や不透明度は高くなるが強度が不十分となる。紙力増強のため両性ポリアクリルアミドなどの薬品を使用する技術など、その対策技術の記事が多かった。

また、炭酸カルシウムは水に微溶で、弱アルカリとなる。したがって従来酸性下で使用されてきたロジンサイズ剤の歩留まりが悪くなるため、ロジンエマルジョン化や中性サイズへの移行が進んだ。この中性紙化の傾向は板紙で顕著であった。（板紙ではない）紙では、酸性紙を使用した図書の劣化が 1970 年代に深刻な問題となったのを契機に 1990 年頃には既にほとんどの書籍用上質紙は中性紙となっていたが、1つの抄紙機で複数種の紙を抄いたり、ミックス古紙の比率が上がってきたりすると、中性紙化は全ての紙種に波及する。保存性を重視しない新聞用紙や広告が主用途の塗工紙の中性紙化についても報告された。

古紙原料に由来する深刻な問題に繊維やサイズ剤等の歩留まりの低下がある。排水浄化のために白水のクローズド化（パルプ懸濁液紙料に戻して循環）が進むと紙料系内のアニオン量（アニオン性の溶存及びコロイド状物質の総量）が増加し、カチオン性の歩留まり向上剤の効果が低減される。この現象は電気伝導度の上昇という言い方もされる。古紙原料の増加でアニオントラッシュ（障害をきたすアニオン）がさらに増加し、ピッチトラブルが発生するが、硫酸アルミニウムを凝集剤としては使えないため、さらなるカチオン性ポリマー凝結剤の開発が進められているという記事が非常に多かった。

古紙原料の高配合と古紙品質の低下に対応した製紙薬品の研究はこの数年さらに重要となっており、リサイクルと環境に関する研究及び製紙薬品に関する研究がさらに進められた。省資源の

ために紙の減斤化（低坪量の紙を製造）傾向が強まり、強度維持のために安価な澱粉の使用が増えた。段ボール原紙への塗布も広く行われるようになったため、段ボール古紙由来の澱粉が古紙処理の工程で増加している。排水に持ち込まれてBOD（Biochemical Oxygen Demand）が上昇しないように紙への歩留まりを上げる薬品の開発も行われた。段ボール原紙だけでなく、塗工紙製造におけるバインダーの配合についてもコストダウン及び環境問題に配慮し、合成ラテックスの一部を置き代えて澱粉を多く配合する傾向にある。また減斤化のための填料としてシリカに注目した研究も報告された。これらによって製紙薬品関連研究がさらに広がった。

その他、従来とは違った傾向を示す研究として、塗工白板紙の光沢ムラの解析に関する記事があった。種々の商品が、流通パッケージのまま商品を陳列販売することが多くなり、ビジュアルな印刷品質の向上が求められている。この研究は板紙の印刷用紙化を示すもので、白板紙の内層は灰色の古紙パルプを使用するが、表層に用いる高白色度の再生パルプ又は化学パルプの使用量は従来1%程度であったものが最近では5%程度に増やしており、まさしく印刷適性が求められる板紙が増産されている。

インクジェット印刷用紙に関しては、2008年以降ターゲットは個人向けから商業向けへのシフトが明確となっている。このシフトに伴い、インクジェット印刷物が古紙として大量に処理される状況を想定し、必要となる脱墨処理に関する記事も見られた。

良質古紙資源の供給源でもある新聞用紙に関しては、2017年の新聞巻取紙の生産量がピーク時の2007年に比べ、26.9%減少（紙全体では24.0%減少）した。今後も市場の縮小は避けられず、新聞用紙生産設備は、板紙への転抄が進むであろう。

第二十二回 夏先生のチャイナレポート

夏先生のチャイナレポートは平成 26 年から連載を開始し、20 回を超える長期連載となりました。夏占友先生の略歴を改めて紹介致します。



夏占友 (XIA ZHANYOU)

1953 年中国・黒龍江省牡丹江市生まれ

中国北京・对外経済貿易大学卒、東京外国語大学、東京経済大学留学。
在東京・中国大使館経済商務担当一等書記官、在福岡・中国総領事館
経済商務担当領事歴任。東京経済大学、阪南大学、福山大学、立命館
大学客員教授、对外経済貿易大学教授、国際経済研究院副院長歴任。
对外経済貿易大学日本研究サロン秘書長。

日本国際経済研究所理事。

2015 年 1 月定年退職。

2018 年中国の古紙、板紙、段ボールの需給動向 及び 2019 年の見通しについて

始めに

中国の製紙産業は国民経済及び社会事業の発展に関わる重要な基礎原料産業であり、国民経済の重要な部分である。その上、関連企業範囲も広く、軽工業、紡績業、農業、林業、印刷、包装、物流などの産業発展に重要な役割を果たしている。

2009 年に生産量及び消費量が共に 1 億トンを超えてから、世界一位の地位を保っている。したがって、中国の製紙産業の生産量及び消費量の動向は世界各国に注目されている。

1. 紙及び板紙の生産、消費について

中国造紙協会の報道によると、2018 年全国の紙及び板紙生産企業は約 2,700 社であり、総生産量は 1 億 435 万トン（前年同期比 6.24% 減少）、消費量は 1 億 439 万トン（同 4.2% 減少）、一人当たりの年消費量は 75 キログラム（13.95 億人口計算）である。2009 年から 2018 年までの紙及び板紙生産の年間平均増加率は 2.12%、同消費量の年平均増加率は 2.22% であった。

主要製品の状況は次の通り。

1) 新聞紙

2018 年の新聞紙の生産量は 190 万トン（前年同期比 19.15% 減少）、消費量は 237 万トン（同 11.24% 減少）。2009 年から 2018 年までの新聞紙生産量の年平均増加率は 9.78% 減り、消費量年平均増加率も 7.13% 減った。

2) 未塗工印刷、便箋紙

2018 年の未塗工印刷、便箋紙の生産量は 1,750 万トン（前年同期比 2.23% 減少）、消費量は 1,751 万トン（同 0.4% 増加）。2009 年から 2018 年までの生産量年平均増加率は 1.65%、消費量年平均増加率は 1.76% であった。

3) 塗工印刷紙

2018 年塗工印刷紙の生産量は 705 万トン（前年同期比 7.84% 減少）、消費量は 604 万トン（同 4.73% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均増加率は 1.98%、消費量年平均増加率は 3% であった。

うち、コート紙の生産は 655 万トン（前年同期比 2.96% 減少）、消費量は 581 万トン（同 0.68% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均増加率は 3.05%、消費量年平均

増加率は 4.26% であった。

4) 生活用紙

2018 年の生活用紙の生産量は 970 万トン（前年同期比 1.04% 増加）、消費量は 901 万トン（同 1.24% 増加）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 5.88%、消費量年平均増加率は 6.1% であった。

5) 包装用紙

2018 年の包装用紙の生産量は 690 万トン（前年同期比 0.72% 減少）、消費量は 701 万トン（同 0.85% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 2.05%、消費量年平均増加率は 1.99% であった。

6) 白板紙

2018 年の白板紙の生産は 1,335 万トン（前年同期比 6.64% 減少）、消費量は 1,219 万トン（同 6.16% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 1.67%、消費量年平均増加率は 0.55% であった。

うち、塗工白板紙の生産量は 1,275 万トン（前年同期比 6.93% 減少）、消費量は 1,158 万トン（同 6.46% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 1.65%、消費量年平均増加率は 0.47% であった。

7) 外装ライナー

2018 年の外装ライナーの生産量は 2,145 万トン（前年同期比 10.06% 減少）、消費量は 2,345 万トン（同 6.57% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 2.42%、消費量年平均増加率は 2.93% であった。

8) 段ボール原紙

2018 年の段ボール原紙の生産量は 2,105 万トン（前年同期比 9.85% 減少）、消費量は 2,213 万トン（同 7.64% 減少）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 2.3%、消費量年平均増加率は 2.59% であった。

9) 特種紙及び板紙

2018 年の特種紙及び板紙の生産量は 320 万トン（前年同期比 4.92% 減少）、消費量は 261 万トン（同 4.82% 増加）。2009 年から 2018 年までの年平均生産増加率は 8.78%、年平均消費量増加率は 6.83% であった。

2. パルプの生産量及び消費量について

(1) パルプの生産状況

統計によると、2018 年の全国パルプの生産量は 7,201 万トン（前年同期比 9.41% 減少）。うち、木材パルプは 1,147 万トン（同 9.24% 増加）、古紙パルプは 5,444 万トン（同 13.61% 減少）、非木材パルプは 610 万トン（同 2.17% 増加）。

(2) パルプの消費状況

2018 年全国パルプの消費量は 9,387 万トン（前年同期比 6.61% 減少）。木材パルプは 3,303 万トンで、消費量の 35% を占めており、うち輸入木材パルプは 23%、国内木材パルプは 12% を占めている。古紙パルプは 5,474 万トンで、パルプ消費量の 58% を占めている。うち、輸入古紙パルプは 16%、国産古紙パルプは 42% を占めている。非木材パルプは 610 万トンで、6% を占めている。

(3) 古紙の利用状況

2018 年全国古紙の回収量は 4,964 万トン（前年同期比 6.07% 減少）。回収率は 48%、利用率は 64% である。2009 年から 2018 年までの古紙回収量の年平均増加率は 3.39% であった。

3. 紙製品生産及び消費状況について

国家統計局のデータによると、2018 年全国規模以上の紙製品生産企業は 4,003 社で、総生産量は 5,578 万トン。（前年同期比 17.98% 減少）、消費量は 5,273 万トン（同 19.04% 減少）。輸入量は 18 万トン、輸出量は 323 万トンであった。2009 年から 2018 年までの紙製品生産の年平均増加率は 3.99%、消費量の年平均増加率は 3.88% であった。

4. 紙及び板紙、パルプ、古紙及び紙製品の輸出入状況について

(1) 紙及び板紙、パルプ、古紙及び紙製品の輸入

2018 年紙及び板紙の輸入は 622 万トン（前年同期比 33.4% 増加）、パルプの輸入は 2,479 万トン（同 4.51% 増加）。古紙の輸入は 1,703 万トン（同 33.79% 減少）。紙製品の輸入は 18

万トン（同 5.26% 減少）。

（２）紙及び板紙、パルプ、古紙及び紙製品の輸出

2018 年の紙及び板紙の輸出は 618 万トン（前年同期比 11.59% 減少）、パルプの輸出は 9.99 万トン（同 1.22% 増加）。古紙の輸出は 0.06 万トン（同 60% 減少）。紙製品の輸出は 323 万トン（同 5.21% 増加）。

5. 2019 年の見通しについて

2019 年の中国製紙企業は安定成長し、生産も消費も前年並みであろう。国家環境保護法律の強化に連れて、製紙産業に対する監督検査が益々厳しくなり、国の環境保護基準に達していない企業は閉鎖されるか大手企業に吸収合併される。

2019 年に新設された製紙企業は、必ず「グリーン発展を優先にし、緑水青山こそ銀山金山、省エネルギー」という新しい発展方式を堅持しなければならない。

新しい動向として、多くの大手製紙企業は海外からの古紙パルプを安定供給するため、相次いで海外に投資し、生産基地を設立している。例えば、玖龍（ナインドラゴン）紙業、理文造紙、山鷹紙業、太陽紙業はラオス、ベ

トナム、マレーシアなど東南アジアに進出している。また、恒安国際、金光 APP、亜太森博、中国造紙、正隆紙業なども海外に投資し始めている。

終わりに

目下、中国造紙工業はすでに重要な転換期を迎えており、供給側構造改革は明らかに改善されている。科学技術的イノベーション能力が増強され、グリーン生産と発展は業界の一致目標となっている。製紙工業の持続的発展は可能であるが、政策、資源、環境、市場などは依然として、中国製紙産業の発展に重要な影響を与えるだろう。幸い全体から見れば、製紙産業は国民経済における地位が変わっていないため、中国製紙工業の将来は光明である。

前述のように、昨年度の古紙パルプの消費量は 5,474 万トンで、パルプ消費量の 58% を占めていた。環境保護のため、今年の古紙パルプの使用量は恐らく 60% を突破するだろう。そのため、国産の古紙回収率をもっと高めなければならない。回収率を 50% 以上にアップし、回収量は 5,000 万トン以上に達し、利用率は 65% 以上に達するだろう。

2018 年中国の古紙統計

2018 年中国の古紙概況：

中国造紙協会のデータによると、古紙輸入規制と環境規制等により企業の統廃合が進み、2018 年の中国国内の製紙企業数は約 2,700 社で前年の 2,800 社から 100 社減少した。

紙・板紙生産量は 104,350 千トン（前年比 93.8%）、紙・板紙消費量は 104,390 千トン（前年比 95.8%）で、2013 年に若干の減少はあったものの、これまで増加傾向にあった紙・板紙生産量、消費量が大幅に減少した。また、一人当たりの紙・板紙消費量も前年の 78kg から 75kg に減少した。

古紙についてみると、古紙輸入量（有姿）は 17,033 千トン（前年比 66.2%）で、古紙輸入規制の影響により大幅に減少し、特に「その他古紙」は 2 月から輸入ゼロとなっている。一方で、古紙パルプの輸入が 25 倍となったが、古紙消費比率は 63.9%（前年 - 6.7% ポイント）と大きく減少し、製紙用繊維原料に占める古紙パルプ消費量は 58.3%（前年 - 4.4% ポイント）に低下した。

（単位：千トン）

	2016 年		2017 年		2018 年		前年比
紙・板紙生産量 A	108,550		111,300		104,350		93.8%
紙・板紙消費量 B	104,190		108,970		104,390		95.8%
製紙用繊維原料	2016 年	構成比	2017 年	構成比	2018 年	構成比	前年比
木材パルプ消費量	28,770	29.4%	31,510	31.4%	33,030	35.2%	104.8%
古紙パルプ消費量	63,290	64.6%	63,030	62.7%	54,740	58.3%	86.8%
非木材パルプ消費量	5,910	6.0%	5,970	5.9%	6,100	6.5%	102.2%
製紙用繊維原料計	97,970	100.0%	100,510	100.0%	93,870	100.0%	93.4%

注）中国造紙協会では単位は万トンで発表しているが、古紙再生促進センターでは他の統計に揃えるため、単位は千トンで掲載する。

輸入実績	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
紙・板紙輸入量	2,970	4,660	6,220	133.5%
紙製品	120	190	180	94.7%
木材パルプ輸入量	18,813	21,109	21,663	102.6%
古紙パルプ輸入量	13	12	303	2525.0%
古紙輸入量（有姿）	28,499	25,719	17,033	66.2%

輸出実績	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
紙・板紙輸出量	7,330	6,990	6,180	88.4%
紙製品	2,910	3,070	3,230	105.2%
木材パルプ輸出量	96	99	100	101.2%
古紙輸出量（有姿）	2	2	1	40.0%

	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
古紙回収量 C	49,640	52,860	49,640	93.9%
古紙消費量（有姿） D	78,130	78,580	66,670	84.8%
古紙消費比率（%）= D / A	72.0%	70.6%	63.9%	
古紙回収率（%）= C / B	47.6%	48.5%	47.6%	

古紙品種別輸入量	2016 年		2017 年		2018 年		前年比
段ボール古紙	16,737	58.7%	15,069	58.6%	12,939	76.0%	85.9%
上質系古紙	875	3.1%	844	3.3%	700	4.1%	83.0%
新聞雑誌	5,202	18.3%	4,896	19.0%	3,379	19.8%	69.0%
その他古紙	5,686	20.0%	4,910	19.1%	14	0.1%	0.3%
合計	28,499	100.0%	25,719	100.0%	17,033	100.0%	66.2%

出典：中国造紙協会統計

2018 年度 欧州訪問調査

昨年末、古紙再生促進センターとして 16 年ぶりに EU 古紙事情の調査を実施した。

2017 年から 2018 年にかけての中国の品質、および物量に対する古紙輸入規制がどういう影響を与えたか、また今後の動向を調査することが目的であった。センター会員の製紙会社、古紙問屋さんからも参加をいただき、ベルギー、イギリス、ドイツで製紙連盟、古紙ヤード、製紙工場を訪問、関係者と意見交換することが出来た。

EU は 28 か国で構成される大経済圏であり、視察した場所、面談した組織も極めて限定されたが、概要含めて感じたことを報告したい。

調査報告書はホームページに掲載している。

センターホームページ「統計資料・刊行物」の「海外紙リサイクル調査」に下記のタイトルで掲載。
【平成 30 年度 海外調査報告書～EU、英国、ドイツの紙リサイクルの状況および法規制等の調査～】



調査概要

調査目的	①中国の古紙輸入制限による需給、品質面への影響の把握 ②古紙回収と利用に対する取り組みの把握 ③古紙関連協会、組織、業界との関係構築
訪問地	ベルギー（ブリュッセル）、イギリス（ロンドン）、ドイツ（デュッセルドルフ）
訪問期間	2018 年 12 月 11 日（火）－ 12 月 19 日（水）
面談先	7 協会、2 製紙メーカー、2 古紙会社

EUではCircular Economyという標語のもと、再生資源循環型経済を目指している。鉄、金属、プラスチック、E-Waste、紙・板紙等々、再生資源として見直しをはかり、国際競争力の強化、雇用の創出、埋め立て削減による環境改善を進めていこうという合意がEU内でなされている。

紙・板紙の分野ではCEPI（Confederation of Europe Paper Industries＝ヨーロッパ製紙連合）が中心になり、古紙リサイクル率74.0%（リサイクル率＝《資源として使用された数量＋域外への輸出数量》／EU内で流通した紙・板紙量）を目標値に設定、古紙回収と利用を促進している。リサイクル率は2010年に68.5%、2017年に72.4%と着実に向上させてきたが、2018年は71.6%と逆に低下している（CEPIの年次統計資料より）。この低下の原因は、やはり輸出の落ち込みが影響したといえる。半面、消費量は着実に増加し、利用率（紙・板紙に使用される古紙からの繊維比率）も着実な伸びを示し、2018年は52.9%となっている。（因みに日本は65%目標、2018年実績64.2%）。

欧州（EU-28）からの古紙輸出

（'000T）

輸出先		2017 (a)	2018 (速報) (b)	前年比% (b/a)
総輸出量		11,230	10,537	93.8
主な輸出先	中国	7,113	3,443	48.4
	インドネシア	786	1,152	146.6
	インド	830	2,021	243.5
	タイ	270	536	198.5
	台湾	215	281	130.7

輸出減は、明らかに中国の輸入制限によるものだが、他アジア諸国への振替輸出により、減少を最小限に抑えられた模様。また、域内では主に東欧諸国で、この3年以内に300万トン～400万トン／年の古紙の使用増が期待されている。輸出に対しては、リサイクル率向上のため大きな意味を持っていることは理解しつつも、あまりにも急激な購買姿勢の変化、購買の不安定さ、また品質の良好なものを選別し輸出することが横行していることから、否定的な意見がEU内で出ていることが紹介された。極端だが、今後禁止すべきという意見も出ているとのこと。

リサイクル率向上、そして環境改善対策のために重要な課題は、再生可能品の埋め立てを‘0’にすることであり、EPRC（＝European Paper Recycling Council）が中心になり、材質、デザイン、流通も含めて、再生の難易度を定量化することを検討している。

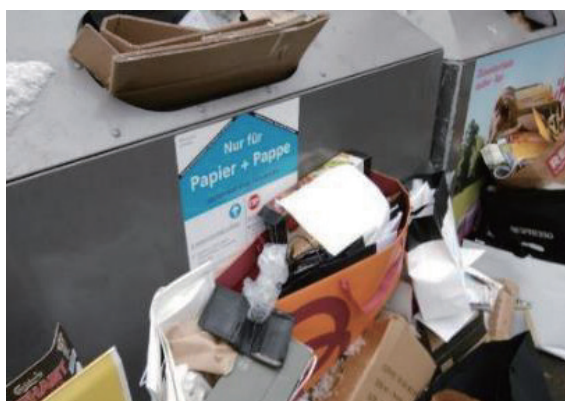
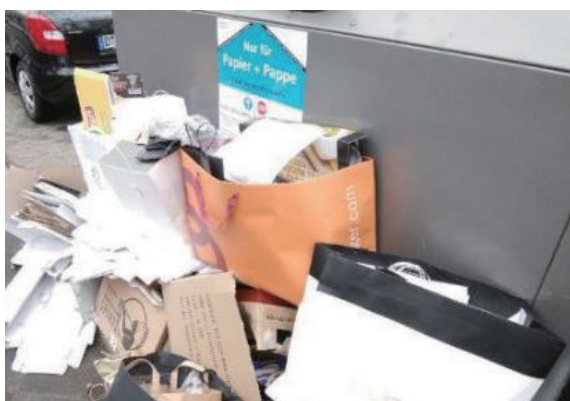
CEPI は家庭、拠点からの古紙回収について 3 種類の方法を設定している。

(※ CEPI は品質と回収量のバランスを考慮し、② Separate Collection を推進している。)

① Comingled Collection	資源物を一括して回収する方法。回収量は期待できるがビン、カン、紙など混合回収するため、異物の混入が多く、問題視されている。米国の Single Stream と同じ。
② Separate Collection	紙・板紙は古紙として、他資源物とは分別して回収される方法。2008 年頃から推奨され、普及している。 米国で Dual Stream と呼ばれている回収形態と同じ。
③ Selective Collection	紙板紙を種類ごとに分別して回収する方法。日本の分別回収と同じ。

ドイツの街頭で見かけるように紙類の回収ケースが設置され、Separate Collection を徹底しようという意図が感じられた。CEPI の説明では、イギリス以外はほぼ徹底されてきているとのこと。ただ、日本のように紙・板紙の種類ごとの分別回収は実施されているところもあるが、極めて少なく CEPI 自体も実態を把握していないとのこと。

日本の分別回収、システムにつき説明したが、驚きと羨望の目で受け止められた。



ドイツ・デュッセルドルフ市内のごみ箱の状況

紙は「ゴミ」や「その他資源物」とは分別されているが、種類ごとには分別されていない。

対して、イギリスではまだ Comingled Collection が主体。回収される古紙には混合物が多い。特に草木が混入率が高いとの説明があった。同国は製紙産業の規模が小さく、紙・板紙需要の半数以上を輸入に依存している。古紙は Comingled Collection での回収により、回収率は高い。回収された古紙は 70% 以上が輸出され、中国向けが圧倒的に多かった。しかし、品質規制、Mix 古紙の禁止により、受け入れ拒否を懸念されるためか、大きく減少。他アジア諸国に振り替え輸出されている。リサイクル協会の方は、アジア諸国の品質規制が今後どうなるか、強い関心を示していた。また、EU 内製紙工場では、あまりにも異物が多いため、イギリスからの古紙の購入をやめているところがあると聞いた。品質の問題が深刻になりつつあり、同国の古紙回収、販売といったリサイクル産業は大きな課題に直面しているのではないかと思う。

製紙（板紙）工場を 2 社訪問した。イギリスの工場では家庭からの Mix 古紙を 20% 使用しているとのこと。入荷している Mix 古紙は種々雑多な紙・板紙にプラスチック、カンの混入が甚だしい。工場ではスクリーンを増設し、異物の除去を強化するとともに、プラスチックをペレット状にして、工場内燃料として使用していたが、ペレットに多量の繊維分が付着し、スクリーンの設置による設備投資、また古紙歩留まりがどの程度なのかと感じた。



イギリス・ロンドン市内のごみ・資源の回収



フリーペーパー配布場所前の古紙回収ボックス
記載内容は、「新聞＆雑誌」



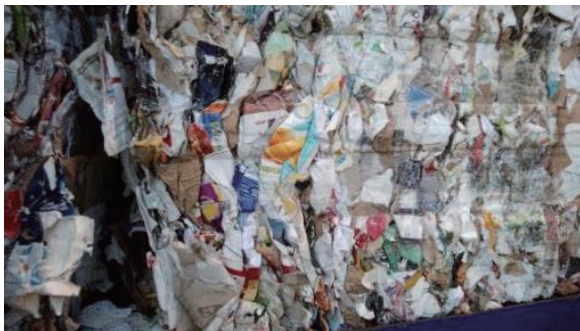
リサイクルボックス（記載内容）
新聞＆雑誌／プラスチックボトル／食品缶＆飲み物カップ／ガラスボトル（すべてを混合）



一般的なゴミ箱（紙も混入）

ドイツでは、Mix 古紙が原料主体の板紙工場を訪問。都市部近郊の工場立地で家庭、拠点からの古紙が80%強を占めていた。Separate Collection が徹底されている効果で、異物の混入は少ない。ただ、やはり Mix 古紙が主体である故、製品の強度は弱く、安定していない模様。軽量塗工ライナーが主生産品だが、日本ではあまり流通していない品目。Mix 古紙の使用により、古紙の最大限の利用と廉価な原料という長所はある反面、塗工、着色費用などに、コストがそれ相当にかかっているのではと推察した。また最終製品の包装容器は、使用範囲が限られているのではないかと感じた。

【イギリスの製紙工場に入荷された古紙】



Mix 古紙。見えにくいですが、飲料パック・
段ボール・ビニール混入が目立つ。



受け入れ中の段ボール古紙
(色物が多い)

今回の行程中、面談の都度、日本の古紙回収につき、説明した。行き届いた品質管理に対し、羨ましがられ、消費者、生活の場での分別回収の姿勢に対し、驚きの声があった。各国・地域の事情が様々で、簡単には比較できないが、分別回収は素晴らしい考え方で、それを可能にしているリサイクルに対する日本全体の意識の高さに意を新たにしたい今回の調査であった。

日本のリサイクルシステムは選別を徹底していることから、再生可能資源物の付加価値を高めている。その益を分配し、再生産、再回収に充てていく、焼却ごみの減量に貢献しているのは、“もったいない精神”の表れであり、リサイクルの基本精神になっていると思う。

EU ではリサイクル率74%という目標が設定されている。域内使用を増やすことに主眼が置かれると思われるが、リサイクル率に占める、輸出比率も決して低くはなく、急激な増減は目標達成のためには障害になっていくであろう。中国以外のアジア各国では、今後も品質基準が強化されていくことは必至で、EU 諸国にとって域内使用のみならず、輸出についても、品質改善が求められていくと思われる。

月 日	会 議 名	主 要 議 題
3 月 7 日 (木)	九州地区委員会	①古紙需給動向について ②平成 31 年度九州地区委員会活動計画 ③平成 31 年度集団回収実施団体表彰応募状況経過報告 ④平成 30 年度北九州市廃棄物管理責任者講習会実施報告 ⑤平成 30 年度集団回収特別活動賞表彰の実施報告 ⑥平成 31 年度集団回収実施団体への感謝状贈呈について ⑦ロウ引き段ボール混入防止リーフレット配付について ⑧その他
3 月 15 日 (金)	関東地区委員会	①古紙需給動向について (古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向 (製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④その他
	第 26 回 古紙未来懇話会	講演「物流業界の現状と課題」
	中・四国地区 委員会	①古紙及び製品需給動向 (製紙会社) ②古紙需給動向について ③平成 30 年度集団回収感謝状贈呈の実績について ④平成 31 年度予算・地区事業計画について ⑤その他
3 月 19 日 (火)	近畿地区委員会	①古紙需給動向について ②検収委員会報告 ③その他
3 月 20 日 (水)	3 月度常任理事会	①最近のトピックスについて ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2019 ・古紙の回収率、利用率の推移 ・古紙の回収量、消費量、輸入量、輸出量の推移 ・輸出入に伴う梱包材量推定 (2018 年) ②平成 30 年度第 10 回業務委員会議事次第について ③その他
	通常理事会	第 1 号議案 平成 31 年度事業計画書・収支予算書等について 第 2 号議案 評議員会の開催について 報告事項 ①業務執行状況について ②内閣府による立入検査結果概要について
	第 10 回業務委員会	①通常理事会の報告について ②古紙の需給・市況動向について ③その他 ・平成 30 年度古紙品質トラブル報告 ・写真コンクールの募集について ・今後の業務委員会等の開催予定
3 月 27 日 (水)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表 ②古紙の需給・市況動向について ③古紙の消費実績と計画対比表 ④北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表 ⑤古紙消費量・在庫量の推移 ⑥情報交換 ⑦その他 ・平成 31 年度集団回収感謝状贈呈について ・平成 31 年度広報事業について ・平成 30 年度リサイクルアドバイザー試験について ・古紙商品化適格事業所第 4 回更新について ・古紙回収の写真コンクール募集について
3 月 27 日 (水)	静岡地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②平成 30 年度活動実績報告 ③任期満了に伴う次期委員の確認 ④紙リサイクル広報活動について ・平成 31 年度紙リサイクル出前授業の計画について ・集団回収感謝状贈呈のための実施団体の推薦依頼 ⑤地区事業について ⑥その他 ・平成 31 年度活動計画の日程確認 ・古紙品質トラブル報告 ・第 2 回古紙回収の写真コンクールの実施計画について ・大型連休期間中の古紙受け入れ計画の調査について

月 日	会 議 名	主 要 議 題
4 月 11 日 (木)	九州地区委員会	①今期の九州地区委員について ②古紙の需給・市況動向について ③平成 31 年度継続事業について ・第 2 回「古紙回収の写真コンクール」実施計画 ・親と子の紙リサイクル読本発行 ・全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト 2019 応募 ・小学生対象のリサイクルバスツアー ・紙リサイクル出前授業 ④九州地区委員会総会について ・集団回収感謝状贈呈について ⑤紙リサイクル意見交換会、研修会の実施協力をお願い ⑥古紙品質トラブル報告 ⑦その他
4 月 17 日 (水)	中部地区委員会 東海分会	①古紙の需給・市況動向について ②中部地区委員交代のお知らせ ③地区支援費の予算 ④ゴミ非常事態宣言 20 周年記念イベント ⑤古紙回収推進事業 (団体説明会) ⑥古紙品質トラブル報告 ⑦その他
4 月 18 日 (木)	関東地区委員会	①古紙需給動向について (古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向 (製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④平成 30 年度関東地区古紙開梱組成品質調査結果について ⑤段ボール、新聞、雑誌 2019 年 1 月～3 月消費実績・2019 年 4 月～9 月消費計画 ⑥その他 ・全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト 2019 応募促進ご協力をお願い ・今後の関東地区委員会等の開催予定
	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②検収委員会報告 ③その他 ・今後の各会議の開催予定
4 月 19 日 (金)	地区事務局会議	①平成 31 年度 (令和元年度) 予算について ②事業推進のための取り組みについて ・公益事業の強化・拡大のために 古紙品質調査事業 古紙品質情報ネットワークの運用 紙リサイクル意見交換会、紙リサイクル研修会 紙リサイクル出前授業の実施拡大 紙リサイクルコンテスト 集団回収感謝状贈呈、集団回収特別活動賞 会報 ホームページの活用 ・地区委員会の活動について ③その他 ・内閣府立入検査の報告 ・地区委員会委員長印等の押印について ・その他質疑応答
4 月 24 日 (水)	4 月度常任理事会	①通常理事会と定時評議員会の招集及びその目的事項について ②任期満了に伴う理事・監事候補及び新任理事候補について ③家庭紙委員会の発足について ④集団回収実施団体への感謝状贈呈について (九州地区委員会推薦) ⑤全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト 2019 における文部科学大臣賞の新規 交付の決定について ⑥ 2019 年度第 1 回業務委員会議事次第について ⑦その他 ・新規感熱性発泡紙の問題 ・今後のスケジュールについて
	第 1 回業務委員会	①古紙の需給・市況動向について ② 2019 年 4 月～9 月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について (九州地区委員会推薦) ④全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト 2019 における文部科学大臣賞の新規 交付の決定について ⑤昇華転写紙に関する対応 ⑥ USA 及び EU からの古紙輸出 ⑦その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
4 月 25 日 (木)	静岡地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②紙リサイクル広報活動について ・紙リサイクル出前授業の進捗報告及び計画 ・集団回収感謝状贈呈団体の推薦基準 ・富士山紙フェアの開催予定 ・全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト 2019 実施要領 ・紙リサイクル意見交換会・研修会の実施協力をお願い ③地区事業について ・委員研修会の内容 ・活性化行事・地区委員情報・意見交換会実施報告 ④その他 ・第 3 回地区委員会開催日の変更について ・古紙品質情報ネットワークの運用

月 日	会 議 名	主 要 議 題
5月14日(火)	財務委員会	①平成30年度事業報告(案)について ②平成30年度決算報告(案)について ③その他
5月17日(金)	監 事 会	①平成30年度事業の執行状況について ②平成30年度決算の監査について ③その他
	東北地区委員会	①業務委員会報告 ②関東地区委員会報告 ③古紙の需給・市況報告について ④センター事業推進のための取り組みについて ・古紙品質調査事業の古紙開梱組成実施工場拡大について ・古紙品質情報ネットワークについて ・紙リサイクル意見交換・研修会について ・紙リサイクル出前授業の実施拡大について ・紙リサイクルコンテストに関する協力依頼について ・集団回収感謝状贈呈・集団回収特別活動賞について ・ホームページでの活用について(地域広報活動の紹介) ・仙台市エコフェスタ参加について ・秋の移動例会の日程、場所について ⑤その他
5月22日(水)	関東地区委員会	①古紙需給動向について(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④通販用緩衝封筒について ⑤その他 ・第2回「古紙回収の写真コンクール」 ・紙リサイクル出前授業の実施報告、実施予定 ・紙リサイクル研修会の実施予定 ・今後の関東地区委員会等の開催予定
	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②紙リサイクル出前授業の開催お願い ③紙リサイクルコンテスト応募促進のお願い ④検収委員会報告 ⑤その他 ・今後の各会議の開催予定
5月23日(木)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表 ②古紙の需給・市況動向について ③古紙の消費実績と計画対比表 ④2019年1月～6月の古紙消費計画について ④北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表 ⑤古紙消費量・在庫量の推移 ⑥情報交換 ⑦その他 ・令和元年度集団回収感謝状贈呈について ・地区委員の交代について
	静岡地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②紙リサイクル広報活動について ・紙リサイクル出前授業の計画 ・集団回収感謝状贈呈団体推薦のお願い ・紙リサイクル意見交換会に対する地方自治体の関心度調査結果 ③古紙品質トラブル報告 ④その他 ・今後の各会議の開催予定
5月27日(月)	5月度常任理事会	①通常理事会(5/27)、定時評議員会(6/12)及び臨時理事会(6/12)の上程議案について ②家庭紙委員会の設立について ③集団回収実施団体への感謝状の贈呈について(北海道地区委員会の推薦) ④令和元年度第2回業務委員会議事次第について ⑤その他
	通常理事会	①第1号議案 平成30年度事業報告について ②第2号議案 平成30年度決算報告について ③第3号議案 定時評議員会の開催について ④第4号議案 家庭紙委員会の設立について ⑤報告事項 職務執行状況について
	第2回業務委員会	①通常理事会の報告について ②古紙の需給・市況動向について ③集団回収実施団体への感謝状の贈呈について (北海道地区委員会の推薦) ④2018年度(平成30年度)古紙品質調査について(報告) ⑤古紙への通販用緩衝封筒混入によるトラブル防止に向けた対応 ⑥米国からの古紙輸出 ⑦その他 ・今後の業務委員会等の開催予定

ホームページの更新について

センター事業についてより広く広報するため、ホームページ内容を更新いたしましたので、お知らせいたします。

1. 禁忌品とグリーンマークのバナー作成

センター内検索を解析したところ、禁忌品とグリーンマークの検索が多いことが分かりました。

そこで、トップページに禁忌品とグリーンマークのバナーを作成し、初めてホームページにアクセスした方でも分かりやすい様にしました。



2. 地域広報活動の情報掲載

各地区で実施している紙リサイクル啓発活動をより広く周知するため、イベント実施の事前通知と実施後の報告をホームページで紹介するようにしました。事前の開催通知を1ヶ月前に、実施報告をイベント終了後2週間程度で掲載するようにしています。

情報を更新しましたら【私たちの活動】>【広報事業】>【地域広報活動】ページの【活動のお知らせと実施報告】に情報をアップロードし、【お知らせ】でも通知をするようにしています。

3. 紙リサイクル出前授業の動画紹介

センターでは主に小学生を対象として紙リサイクルに関する理解を深めることを目的とした「紙リサイクル出前授業」を全国で実施しています。

出前授業について周知し、活用いただくため、出前授業の実施風景をまとめた動画を作成しました。1分程度の動画でテロップをつけ、どのように出前授業を実施しているか紹介しています。【私たちの活動】>【広報事業】>【紙リサイクル出前授業】のページでご覧いただけます。



【お詫びと訂正】

紙リサイクル出前授業の実施結果を上半期は第44巻第4号、下半期は第45巻第2号に掲載しましたが、東北地区委員会で開催した以下の2校が記載漏れでした。関係者の皆様にお詫び申し上げます。

実施日	実施校	クラス	講師
平成30年9月25日	南相馬市立大甕小学校	4年生（1クラス）	（株）高良
平成30年10月2日	南相馬市立太田小学校	4年生（1クラス）	（株）高良

平成30年度計は全国で55校、3,590名の児童に授業を行いました。

第2回「古紙回収の写真コンクール」入賞作品について

日本の古紙回収システム（初期分別、分別回収、選別など）は世界的に見てもレベルが高く、古紙品質も高く評価されています。日本の紙リサイクルについて広く周知するため、古紙問屋や関係者に古紙回収等の写真を募集する第2回「古紙回収の写真コンクール」を開催しました。

2019年4月から5月に作品を募集し、12作品が入賞となりました。受賞作品はセンターホームページや会報などの広報として利用していきます。

入賞作品（12作品）



「古紙ヤード選別の様子」
吉元 様／株式会社坪井商店



「古紙ヤード圧縮作業の様子」
吉元 様／株式会社坪井商店



「古紙ヤード梱包の様子」
吉元 様／株式会社坪井商店



「古紙ヤード清掃の様子」
吉元 様／株式会社坪井商店



「小学生リサイクル授業の様子」
吉元 様／株式会社坪井商店



「選別ライン作業」
須長 様／株式会社二見



「分別ステーション①」
須長 様／株式会社二見



「分別ステーション②」
須長 様／株式会社二見



「出前教室」
須長 様／株式会社二見



「熟練の加工技能」
金子 様／むさし野紙業株式会社



「選別の鬼」
金子 様／むさし野紙業株式会社



「古紙の集団回収」
大西 様／丸善商事株式会社

紙リサイクル促進の新冊子発行

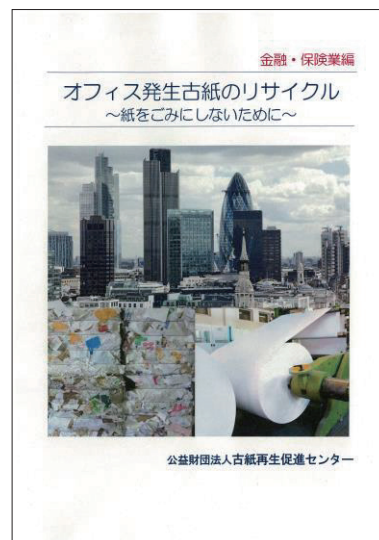
『オフィス発生古紙のリサイクル ～紙をごみにしないために～』

金融・保険業編

オフィス発生古紙は、未利用古紙の開拓という意味で今後の古紙回収率と利用率を高めていくために重要であるだけでなく、古紙の品質向上の観点からも課題を改善していく必要がある対象領域です。

本冊子は、小規模・少量排出事業所の中でもリサイクル率の低い業種である金融・保険業編に特化したものです。機密とオフィス雑がみの線引き、古紙に混ぜてはいけないもの（禁忌品）などをポイントに事業所やオフィスで発生する古紙を製紙原料として循環させていくための基本知識をまとめています。

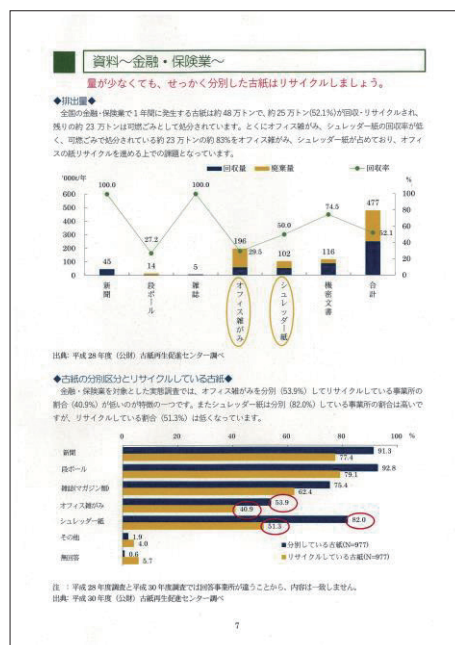
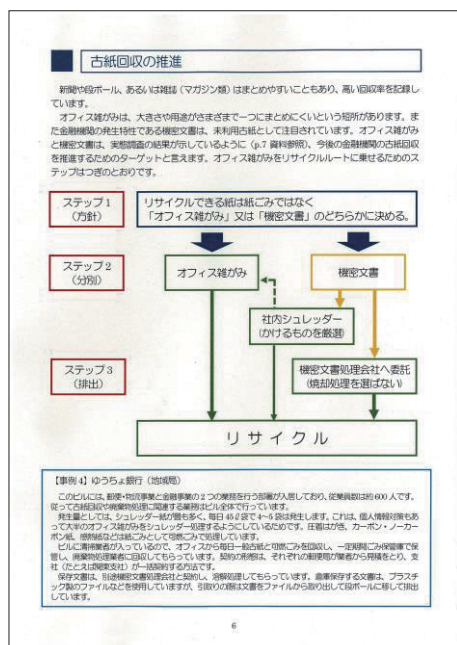
金融・保険業からの古紙回収を促進するために、本冊子を活用して頂ければ幸いです。



本冊子は紙媒体としておりませんので、当センターのホームページの統計資料・刊行物－古紙回収等の啓発資料に掲載しているものをご覧ください。また、必要に応じてダウンロード又は印刷してご利用ください。

http://www.prpc.or.jp/wp-content/uploads/finance_and_insurances_office_recycling_2019.5.pdf

本冊子に掲載されています資料・情報等をそのまま他の刊行物に引用する場合は、引用先を明確にさせていただくとともに当センターに掲載確認を取ってください。



【内容にはリサイクルのポイント、現状のデータを掲載】

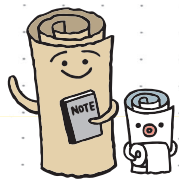
全国小中学生 紙リサイクル コンテスト2019

📢 文部科学大臣賞・学校奨励賞が新設されました！

テーマ

紙リサイクルに関する 活動やアイデア

例えば…



紙リサイクルを
続けるコツを見つけました。

学校や地域の人と協力して、
紙リサイクルの輪を広げよう！

捨てればゴミ、
リサイクルすれば立派な
紙製品に生まれ変わる！



わが家では使い終わった紙を
捨てないように、こんな工夫を
して集めています。

みんなが紙リサイクルに
協力してくれるようにするには、
こうしたらどうか。

紙リサイクル について

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、
使い終わった段ボール、紙バックを回収し、資源に
戻して新たな紙の原料に利用することです。

応募者全員に
記念品
(紙リサイクルノート)
プレゼント!!

締切

2019年 **9月30日** (当日消印有効)
(月)

お問合せ先

〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2019』事務局(CISC内)
TEL.03(5777)1322 / FAX.03(3432)4044

募集対象

全国の小学生・中学生ならどなたでも

募集部門

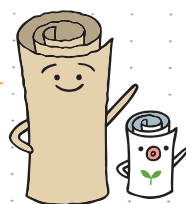
※4部門で募集します

- ①作文小学生部門 ②作文中学生部門
(1,200字以内)※手書きに限ります
- ③ポスター小学生部門 ④ポスター中学生部門
(四つ切以内、絵の具・パステルなど画材は自由)
※裏面にポスターの意図を記入すること

《主催》公益財団法人古紙再生促進センター
《後援》文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会
全国市町村教育委員会連合会
全国小中学校環境教育研究会
読売新聞社
全国製紙原料商工組合連合会
日本再生資源事業協同組合連合会
段ボールリサイクル協議会
日本製紙連合会

みんなで応募しよう!!

紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」



◇編集後記

本号より筑波大学環境材料科学研究室の江前教授に古紙・紙に関する研究レポートを寄稿いただくこととなり、年間2回の掲載を予定しています。今回は最近の製紙研究の動向から見た古紙、リサイクル、環境の重要性について寄稿していただきました。

お知らせではホームページの更新について紹介しています。禁忌品とグリーンマークのバナー作成、地域広報活動の情報掲載、紙リサイクル出前授業の動画公開を行い、センター事業を多くの方に知っていただけるよう取り組んでいます。

また、「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2019」は本年度で11回目の開催となりますが、『文部科学大臣賞』並びに『学校奨励賞』を新設しました。9月30日締切となりますので、皆様にはご親交のある学校へのコンテスト応募の呼びかけなどのお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。(武石)

地区委員会事務局

地 区	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号 F A X 番 号
北 海 道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル4階	011(271)1551 011(232)0017
東 北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事(株)北日本支社内	022(225)3359 022(261)4522
関 東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03(3537)6822 03(3537)6823
静 岡	417-0801	富士市大淵2590番1号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545(35)5270 0545(35)5026
中 部	450-0002	名古屋市市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052(582)1836 052(581)6943
近 畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06(6262)6315 06(6262)6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙(株)内	0896(23)9124 0896(23)4411
九 州	812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目13番27号 グランドハイツ博多314号	092(292)5381 092(292)5382

会報

第45巻 第3号
2019年7月31日

発行所
公益財団法人 古紙再生促進センター
〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号
(新富町ビル4F)
電話 03(3537)6822 (代表)
ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 岡 村 光 二
印刷所 株式会社サンワ

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。